

## 【取組内容】



- 未電化地域の住民が約6億人存在し、高速通信網も未発達であることによって、デジタル社会から孤立し、教育・医療・農業・社会保障などでデジタルトランスフォーメーション（DX）化が行き渡らず都市部との格差が広がっているアフリカにおいて、**太陽光発電とインターネット通信を同時に実現できるサービスを「Made with Japan」で実現。**
- 未電化・未電波地域の村落へ電気と通信の提供を実現する**「TUMIQUI Smart Kit」の導入により**、医療環境が改善され、**1,000件以上の出産や診療が明るい光の下で安全に行われた**ほか、**8万人もの市民にインパクトを与えた。**
- 持続可能な事業構築を築くため、現地政府や自治体と連携し、**現地工場での生産と現地スタッフによる保守修理の体制を実現。**

## 【評価ポイント】

- 現地にノウハウを移転することで持続可能性を高め、デジタルインフラでアフリカの総合的な発展に寄与。

### SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

普遍性	「与える」ではなく、現地で産業を興す「Made With Japan」をモットーとしており、他の国際協力でもモデルケースになり得る。
包摂性	電気や通信がないことで制限されていた医療・教育の機会を創出する活動は「誰一人取り残さない」理念を体现。
参画型	現地政府や自治体だけでなく、日本の電力会社とも連携し、長所短所を補うパートナーシップを展開。
統合性	太陽光発電と遠距離通信技術を組み合わせたデジタルインフラを構築し、アフリカの総合的発展を目指している。
透明性と説明責任	アフリカビジネス協議会での活動紹介や、外部アドバイザーの就任など、都度、事業の取組公開と修正を行っている。



渋沢栄一とSDGs動画

